



2010年5月27日

報道各位

国際環境 NGO FoE Japan

水Do! (スイ・ドウ) キャンペーン ～ 水道水でいこう

キックオフ記者発表のご案内

このたび、私ども NGO は共同で、地球温暖化防止と廃棄物削減、資源の有効利用の観点から、使い捨て容器入り飲料よりも水道水を選ぼう、という趣旨のキャンペーンを開始します。

今や多くの日本人にとって、ペットボトルなど使い捨て容器に入った飲料を買うことは、日常的な行動になっています。リサイクルや軽量化は進みましたが、生産量はそれを上回る勢いで増加しており、環境負荷は減っていません。

一方、世界の各地では、環境面でもコスト面でも、水道水のほうが優れていることから、ボトル入り飲料から水道水に再びシフトする動きが広がっています。

そこで、おいしく安全な水道水が十分に供給されている今日の日本において、使い捨て容器の大量使用を見直し、少しの工夫やサービスの改善により水道水の利用を推進することで、環境負荷と社会的コストを削減し、快適で豊かなライフスタイルを提案する水Do! (スイ・ドウ) キャンペーンを開始いたします。

つきましては、下記のとおり記者発表を行いますので、ぜひ取材いただけますようよろしくお願いいたします。

— 記 —

水Do! キャンペーン キックオフ記者会見

【日時】 6月1日(火) 13:30～14:00

【場所】 環境省記者クラブ

【内容】 キャンペーン趣旨説明

賛同者、協力・賛同団体のメッセージ紹介

水道水でいれたお茶で「乾杯！」

<別紙> キャンペーン概要

水Do! キャンペーン事務局

国際環境 NGO FoE Japan 廃棄物・3R政策チーム (瀬口、吉田)

〒171-0014 東京都豊島区池3-30-8 みらい館大明1F TEL 03-6907-7217 FAX 03-6907-7219

E-mail tsukaisutezero@foejapan.org URL <http://www.foejapan.org> <http://www.sui-do.jp>

<別紙>

水Do！（スイ・ドウ）キャンペーン～水道水でいこう！（概要）

水Do！本キャンペーンは、ペットボトルなどの使い捨て容器に入った飲料ではなく、水道水を選ぶことによって、CO2、ごみ、そして社会的コストを削減することを呼びかけるキャンペーンです。



WHY なぜいま水Do？ 水Do！したい5つの理由

- 1) CO2が減る ペットボトル飲料のライフサイクルのCO2排出量はペットボトルの数百倍。
- 2) ごみが減る リサイクルはすすんだがごみは減っていない。資源節約と処理コスト削減の必要性。
- 3) エコノミー 500ml ペットボトルの飲料は 100 円～150 円。水道水1リットル 0.1 円。
- 4) スマート わざわざ重い飲料を買いに行かなくても蛇口をひねるだけ。
- 5) 世界でもトレンド ボトル飲料を調達しない自治体やキャンペーンが世界で増えている。

ACTION！ 水Do！しよう

- 1) 自治体の率先した行動を上げよう
会議や庁舎内での使い捨て容器入り飲料の不使用や、水道水利用推奨を行う自治体を応援、推進。
- 2) 街のオアシスを増やそう
各地での市民による調査や提案を行い、街のオアシス(水飲み場、給水スポット)を増やす。
- 3) あなたも水 Do!
環境負荷や経済性の点から、水道水の見直しを啓発、情報発信。
○外出先で ○家で ○オフィスで ○キャンパスで

水Do！サポーター（賛同者） (5/27 現在)

湯川れい子(音楽評論家)、牧野光朗(長野県飯田市長)、植田和弘(京都大学教授)、
末吉竹二郎(国連環境計画金融イニシアチブ特別顧問)、枝廣淳子(環境ジャーナリスト)、
辻信一(ナマケモノ倶楽部世話人) ほか依頼中

実施体制

主催： 国際環境NGO FoE Japan
賛同団体： 環境市民、環境自治体会議、ごみ・環境ビジョン21、中部リサイクル運動市民の会、
ナマケモノ倶楽部、グリーンピース・ジャパン、greenzjp、
Think the Earth プロジェクト、容器包装の3Rを進める全国ネットワーク
(予定含む、ほか呼びかけ中)

主なスケジュール

6月 キャンペーン開始(1日)、ウェブサイトオープン、エコライフフェア出展(5, 6日)
7月 街のオアシス発掘プロジェクト開始
夏～秋 各地でイベント・セミナー開催、出展 自治体全国フォーラムなど